

— 東北の創生に向けて —

東北地方がこれまでに果たしてきた役割を再認識し、
復興後の東北が果たすべき役割を探るとともに、
東北の将来を支える社会資本について考える講演会を開催いたします。

**参加
無料**
定員500名

日時

平成29年2月1日(水)
14:00~16:35 (受付は13:00より)

場所

東北大学 川内萩ホール
仙台市地下鉄東西線「国際センター駅」より徒歩5分(仙台市青葉区川内40)

第一部 記念講演

14:05~15:05

「地方創生を実りあるものとするために」

野村総合研究所顧問(元岩手県知事) 増田 寛也氏

今後、一層の少子高齢化、人口減少による経済低迷が懸念される東北では、地域の資源を最大限に活用した「地方創生」がますます重要になってきます。一方で、東日本大震災後の東北では、高速道路、港湾機能の整備や仙台空港の民営化など、人やモノ、情報を呼び込むネットワークが充実してきました。東北の個性を生かし、豊かな地域をつくるために必要な視点は何か。参加者の皆さまとともに方向性を考えたいと思います。



ますだ ひろや氏

1951年東京生まれ。東京大学法学部卒業後の77年、旧建設省入省。河川局河川総務課企画官、建設経済局建設業課紛争調整官などを歴任し、94年に退職。95年に岩手県知事に初当選し、3期務める。2007~08年総務相。現在、野村総合研究所のほか、東京大学公共政策大学院客員教授を務める。

第二部 地方創生を支えるインフラ技術

15:15~16:35

技術開発支援事業のテーマから、東北の将来を支える技術を紹介します。

- ① 災害に関わる総合情報システムの構築—災害情報から避難情報まで—
—— 東北大学災害科学国際研究所 所長・教授 今村文彦氏
- ② 災害現場及び次世代社会インフラに活用できる計測システムの研究
—— 東北大学大学院環境科学研究科 教授 高橋 弘氏
- ③ 東北地方におけるインフラ維持管理の課題と展望
—— 東北大学大学院工学研究科インフラマネジメント研究センター センター長・教授 久田 真氏
- ④ 川の関心をあげるための基礎的研究
—— 東北大学大学院工学研究科 教授 風間 聡氏

観覧
自由

パネル展示・映画上映
12:00~16:35

- ① 公益事業関連パネル展示
- ② アニメーション映画「未来に向けて—防災を考える—」上映

※本講演会は土木学会CPD(継続教育)認定プログラムです。[2.4単位]

[主催] 一般社団法人東北地域づくり協会、河北新報社

[後援] 国土交通省東北地方整備局、一般社団法人東北経済連合会、東北建設業協会連合会、公益社団法人土木学会東北支部、一般社団法人日本建設業連合会東北支部、一般社団法人建設コンサルタンツ協会東北支部、一般社団法人日本建設機械施工協会東北支部、一般社団法人東北測量設計協会、一般財団法人みちのく創生支援機構、東北大学災害科学国際研究所、東北大学大学院工学研究科インフラマネジメント研究センター、特定非営利活動法人リアルタイム地震・防災情報利用協議会、日刊建設工業新聞社、日刊建設産業新聞社、日刊建設通信新聞社、建設新聞社

公益事業50年記念講演会 — 東北の創生に向けて —

日時 平成29年2月1日(水)
14:00~16:35 (受付は13:00より)

場所 東北大学 川内萩ホール
仙台市地下鉄東西線「国際センター駅」より徒歩5分(仙台市青葉区川内40)

参加申し込み

郵便番号、住所、氏名、ふりがな、電話番号、参加希望人数(3人まで)を明記し、Eメール、FAX、はがきのいずれかでお申し込みください。応募多数の場合は抽選とし、聴講券の発送をもって発表に代えさせていただきます。

※お預かりした個人情報は適切に管理し、本講演会の管理のみに使用します。

申し込み先

河北新報社 企画事業部「東北の創生に向けて」係

Eメール j-oubo3@po.kahoku.co.jp

FAX 022-211-1221

はがき 〒980-8660 河北新報社 企画事業部(住所記載不要)

※いずれも宛て先に「東北の創生に向けて」と明記してください。

※お席に余裕がある場合、当日も受付致します。

申込締切

2017年

1/20(金)
必着

お問い合わせ

河北新報社企画事業部 TEL022-211-1332 (平日9:30~17:30)

必要事項をご記入の上、このままFAXにてお送り下さい。

ご住所 〒 - (聴講券郵送先)	
ご氏名 フリガナ (ご本人)	年齢 歳
電話番号 () -	参加希望人数 名

ご住所 〒 - (聴講券郵送先)	
ご氏名 フリガナ (ご本人)	年齢 歳
電話番号 () -	参加希望人数 名

FAXお申し込み番号 022-211-1221 「東北の創生に向けて」係